

平成26年5月21日

都道府県教育委員会 様
市区町村教育委員会 様
国・公・私立小学校長 様
国・公・私立中学校長 様
国・公・私立高等学校長 様

全国歴史教育研究協議会会長 山崎 茂
大阪府高等学校社会（地歴・公民）科研究会会長 糺 秀章
大阪府高等学校社会（地歴・公民）科研究会副会長 兼
全歴研第55回研究大会実行委員長 山田 勝治
(公 印 省 略)

全国歴史教育研究協議会第55回研究大会(大阪大会)について（ご案内）

新緑の候、貴職におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より当研究協議会のために、格別のご高配・ご支援を賜りまして厚く感謝申し上げます。

さて、全国歴史教育研究協議会では大阪府高等学校社会（地歴・公民）科研究会とともに「連携——新たな歴史教育の模索」を大会テーマとして、第55回研究大会を大阪国際交流センターで開催することになりました。

大阪は古墳時代からの古い歴史を持つとともに、国際的な商いの地としても栄え、世界への窓口としての役割を果たしてきました。この大阪で開催される本大会が新しい歴史教育を追求する端緒となればと存じます。

本大会ではさまざまな実践報告とシンポジウムを通して、全国からご参加の先生方とともに、新たな歴史教育の視点を探りたいと考えています。記念講演には大阪大学の秋田茂先生に大阪にちなんだ講演をお願いしました。

つきましては、一人でも多くの先生方のご参加をいただき充実した大会となりますよう、公務多端の折から誠に恐縮ではございますが、貴管下関係教職員の大会参加につきまして特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。なお、本案内状を貴校の分校・定時制・通信制課程等の教職員の方々にもお知らせいただければ幸甚に存じます。

記

1. 期 日 平成26年7月30日（水）～8月 1日（金）（1日（金）は、史跡見学です。）

2. 会 場 大阪国際交流センター（地図等は後述）
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6 Tel: 06-6773-8989

3. 主 催 全国歴史教育研究協議会 大阪府高等学校社会（地歴・公民）科研究会

4. 後 援 大阪府教育委員会（予定）・大阪市教育委員会（予定）・堺市教育委員会（予定）

5. 基本テーマ 「連携——新たな歴史教育の模索」

6. 記念講演

講 師 大阪大学大学院文学研究科教授 秋田 茂 先生

演 題 「1930年代のアジア国際秩序—大阪から考える世界史」 （略歴・講演概略は後述）

7. 日程（時程は、今後調整あり）

	9:30	10:30	11:45	13:00		17:00	17:30	20:00
7月30日（水）	受付	総会	昼食	分科会（第2～第5）				懇親会

	9:00	9:30		12:00	13:00	14:30	15:00		15:30
7月31日（木）	受付	第1分科会 (シンポジウム)	昼食	記念講演	閉会	史跡見学説明			

9:20 (予定)

16:30~17:30 (予定)

8月1日(金)	史跡見学	大阪北部コース ----- 大阪南部コース
---------	------	-----------------------------

■7月30日(水) 『大会第1日』

受付 9:30~

総会 10:30~11:45 (オープニングセレモニー 長唄 大阪府立東住吉高等学校芸能文化科)

分科会 13:00~17:00

第2分科会(科目間・教科間連携)「開かれる歴史風景—教科・科目の壁をこえて」

提案1 古澤 美穂(ふるさわ みほ)(松蔭中学校・高等学校教諭)

「朝鮮開国から日清・露戦争にいたる道~世界史と日本史との壁をこえて」

* (地歴間連携) 隣国との近現代史を通し「なぜ歴史を学ぶのか」という問いへの答えを探る

提案2 大坂 秀樹(おおさか ひでき)(岡山県立玉野高等学校教諭)

「ロックで学ぶ『現代社会』⇔世界史」

* (地歴・公民間連携) 「若者文化」の代表「ビートルズ」を題材にした授業実践

提案3 梅田 徹(うめだ とおる)(大阪府立都島第二工業高等学校教諭・国語科)

「国語科と歴史科の接点」

* (教科間連携) 大阪府立高校および教育研究会における教科間連携授業の実践

第3分科会(校種間連携)「つなげ合う教育のあり方—異校種の生徒に対する教師の眼差し」

提案1 川口 由美子(かわぐち ゆみこ)(大阪府立咲くやこの花中学校教諭)

「一人ひとりを見つめ、ともに学ぶ社会科教育(歴史教育)の在り方」

※日本史・世界史両方に関わる授業実践

提案2 柴田 洋一(しばた よういち)(大阪府立扇町総合高等学校指導教諭)

「教職課程を有する大学との高大連携事業の試み—大阪府立高等学校教育研究会社会科部会の研究発表会を通して—」

※歴史教育を通じた高大連携教育に関する方法論

提案3 河島 真(かわしま まこと)(神戸大学大学院人文学研究科准教授)

「地域歴史遺産の保全・活用における中学社会科・高校地歴科教員の役割」

※日本史および歴史教育

第4分科会(博学連携)「学校と博物館—多様な連携」

提案1 梶井 浩(はたい ひろし)(大阪府立今宮高等学校教諭)

「学校設定科目「考古学入門」における博物館と学校の連携」

* 博物館での実習を中心とした学校設定科目(日本史の応用科目)の実践報告

提案2 宮崎 亮太(みやざき りょうた)(関西大学高等部教諭)

「博物館資料からの「発見」を授業へ—南蛮貿易の授業を例に—」

* 日本史の授業における博物館貸し出し資料の活用実践

提案3 山本 清(やまもと きよし)(大阪府立弥生文化博物館教育専門員)

「高等学校と弥生文化博物館との連携促進」

* 博物館からみた学校との連携の取り組み。高等学校との連携の課題と展望

第5分科会(歴史一般)「歴史への多様なアプローチ」

提案1 斉藤 優子(さいとう ゆうこ)(大阪府立花園高等学校教諭)

「ジェンダーの視点から読み解く「民衆を導く自由の女神」

※複合的・多面的な歴史理解を促すための世界史教育を目指して。

提案2 浅野 典夫(あさの のりお)(大阪府立狭山高等学校教諭)

「16世紀東アジア海域世界の授業」

※境界を越える海域世界をどう教えるか。教材化の視点と、授業実践報告。

提案3 佐藤 靖子(さとう やすこ)(同志社国際中学校・高等学校教諭)

「映画『もののけ姫』を通して学ぶ多角的な「日本」のすがた」

※日本中世史の教材として創作映画『もののけ姫』を用いる可能性とその方法

懇親会 18:00~20:00 *受付開始 17:30

会場 大阪国際交流センター さくらの間 (オープニングセレモニー 雅楽 同志社雅楽会)

■7月31日(木) 『大会第2日』 受付 9:00~

第1分科会(シンポジウム)「連携——教室にとられない歴史」 9:30~12:00

コーディネーター 嶋中 明彦

(元大阪府高等学校社会(地歴・公民)科研究会会長・大阪府立清水谷高等学校教諭)

提案1 塩崎 悠輝(しおぎき ゆうき)(日本学術振興会特別研究員)

『近代国家とイスラーム——20世紀マレーシアのファトワーに見られる国家とウラマーの対立』(同志社大学提出博士論文)にて第8回(財)国際宗教研究所賞(2012年度)受賞

提案2 荻野 昌樹(おぎの まさき)(NHK大阪放送局制作部ディレクター) 歴史秘話ヒストリアなどの担当

提案3 加藤 俊吾(かとう しゅんご)(大阪歴史博物館学芸課学芸第3係長)

※フィールドワーク・マスコミ・博物館といった、学校教育とは違った立場からの提言。

記念講演 13:00~14:30

講師 大阪大学大学院文学研究科・世界史講座・教授 博士(文学) 秋田 茂 先生

略歴 大阪外国語大学助教授、ロンドン大学政治経済学大学院(LSE)客員教授などを経て、2003年10月より現職。

『イギリス帝国の歴史』にて第14回(2013年)読売・吉野作造賞受賞

演題 「1930年代のアジア国際秩序—大阪から考える世界史」

概要 綿工業の中心である大阪は、1930年代は工業化の面でも全盛期であった。1930年代の経済外交をイギリス帝国と関連づけて再考し、関係性を重視するグローバルヒストリーの視点から、新たな世界史像を考えてみたい。

■8月1日(金) 史跡見学

大阪北部コース(予定) 9:20 大阪歴史博物館前集合

午前 大阪歴史博物館・難波宮・適塾見学 昼食は旧桜宮公会堂(登録文化財)にてフレンチコース

午後 今城塚古墳・資料館(学芸員による案内) 16:30 新大阪駅 着 解散

大阪南部コース(予定) 9:20 大阪歴史博物館前集合

午前 大阪歴史博物館・堺市役所着(展望台より百舌鳥古墳群眺望)・昼食は美々卯堺店にて会席料理

午後 弥生文化博物館着(学芸員による解説・収蔵庫見学)

池上曾根遺跡見学(解説 弥生文化博物館副館長 秋山浩三 先生) 17:30 新大阪駅 着 解散

8. 参加費用

参加資料費 5,000円(参加費 3,000円・資料費 2,000円)*学生は2,000円(資料費 2,000円)

史跡見学費 8,000円(希望者のみ・昼食込み)

懇親会費 5,000円(希望者のみ)

9. 内容更新

逐次、研究会のHPにアップいたします。

<http://www.oh-syaken.sakura.ne.jp/>

10. 会場案内

大阪国際交流センター

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6

Tel: 06-6773-8989

大阪市営地下鉄(谷町線・千日前線) 谷町9丁目
駅から約600m

近畿日本鉄道 大阪上本町駅より約400m

新大阪から約40分・大阪(梅田)から約30分

天王寺から約15分・神戸(三宮)から約40分

大阪空港(伊丹空港)から約40分

関西空港から約60分



国際交流センターには来館者用の駐車場はございませんので、公共の交通機関でお越し下さい。建物の南側と北側に公営・私営の駐車場がありますが、大阪大会事務局では駐車場の手配はいたしません。

1 1. お問い合わせ先

○全歴研第 55 回研究大会（大阪大会）事務局

事務局長 若松宏英（大阪府立美原高等学校教諭）

〒587-0022 大阪府堺市美原区平尾 234-1 TEL：072-362-3100 FAX：072-362-3210

副局長 仲谷和泰（大阪府立登美丘高等学校教諭）

〒599-8125 大阪府堺市東区西野 51 TEL：072-236-5041 FAX：072-235-7224

全歴研大阪大会事務局メール zenrekikenosaka@aol.jp

○大会申込等問い合わせ先（大会参加・史跡見学・宿泊手配等）

株式会社日本旅行大阪教育旅行支店 担当：川原博文 前川尚貴 川原僚

〒541-0051 大阪市中央区備後町 3-4-1 山口玄ビル 7 階 TEL：06-4706-0160 FAX：06-4706-0168

Email: osakaed_office@nta.co.jp 営業時間：平日 10:00～18:00（土日祝休）

大会参加申し込み要領

本大会では昨年の 5 4 回大会（神奈川大会）と同じく、原則として大会ホームページを通しての申し込みをお願いしております、ホームページで要領をよくお読みになり、お間違のないように手続きをお願いします。

大阪大会ホームページURL <http://www.oh-syaken.sakura.ne.jp/zenrekiken/index.html>

「大阪府高等学校社会科研究会」で検索していただき、タブの「全歴研」からはいってください。申し込みフォームは 5 月 2 5 日頃にアップの予定です。

1 申し込み手順（大会参加・史跡見学・懇親会を一括して申込み）

① 上記「大阪大会ホームページ」を開き、「大会要項等」から必要な文書をダウンロードする。

ダウンロードできる書類は、「大会要項・申し込み要領」「宿泊・懇親会・史跡見学のご案内」です。

② 上記「大阪大会ホームページ」の「大会申し込み」をクリックすると、申し込み画面となります。

③ 「新規利用登録」をクリックしてください。

④ 申込ページのトップ画面左上の「ログイン」へ入り、「個人情報」の登録をしてください。

⑤ トップ画面左上の「参加登録」の画面にて参加登録をしてください。

※全体会・分科会・懇親会・史跡見学等への参加の有無についても、入力欄がありますのでご入力ください。

宿泊・交通機関の手配をご希望の方は、該当欄にご入力願います。

※準備の都合上、参加申込期間は 7 月 1 1 日（金）までとします。

※期日後の申込は、大会当日会場での受付とさせていただきます。

⑥ トップ画面左上の「お支払い」の画面にて申込方法を選択し、それぞれの支払い方法に沿って入金する。

※誠に恐縮ですが、振込手数料は各自でご負担願います。

※複数名で大会に参加される学校は、代表者が大会ホームページにログインし、複数名分をまとめて参加登録・お支払いしていただくと、振込手数料が 1 回分で済みます。

※請求書は、ホームページよりダウンロードできます。社印入りの請求書が必要な場合は、日本旅行へ直接お問い合わせください。

※準備の都合上、参加費等は 7 月 1 6 日（水）までにお振り込み下さい。

⑦ 登録していただいたメールアドレス宛に内容確認のメールが届きます。

⑧ 後日、日本旅行大阪教育旅行支店から発送された「予約内容確認書」を持って当日の会場受付へお越し下さい。

※史跡見学・懇親会の際には「予約内容確認書」をご提示ください。

※ご宿泊の場合、チェックインの際に「予約内容確認書」をご提示ください。

2 その他注意事項

① 大会費等の領収書等は大会当日にお渡しいたします。宛名は参加者各自でご記入ください。

② 払い込まれた大会費は不参加の場合でも原則としてお返しいたしませんので、予めご了解下さい。

③ ホームページが閲覧できない場合や、ご不明な点がございましたら、問い合わせ先までお問い合わせ下さい。

④ 大会に参加できない方は、年会費（2, 0 0 0 円）の納入にご協力下さい。『全歴研研究紀要』を送付いたします。年会費の納入には下記の郵便振替口座をご利用ください。

ゆうちょ銀行 口座番号：00170-8-762985 加入者名：全国歴史教育研究協議会